



平成31年 3月発行 第37号
発行元：福生市立中央図書館

福生市熊川 850-1
TEL : 042-553-3111
<http://www.lib.fussa.tokyo.jp/>



妖怪アパートの幽雅な日常 1

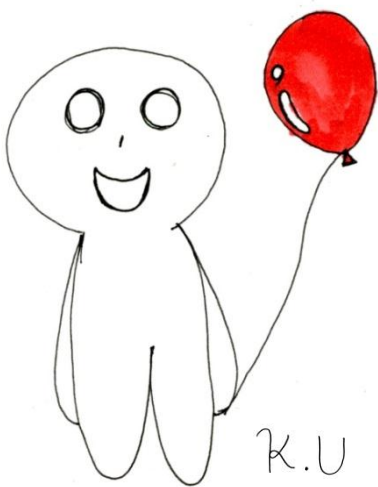
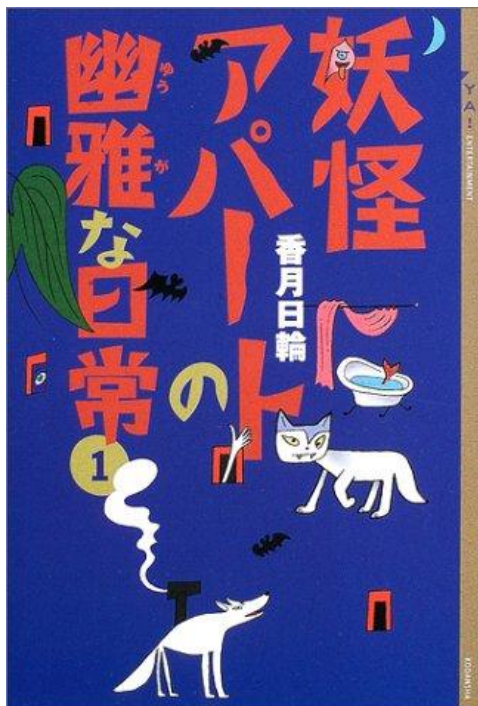
香月 日輪／著
講談社（二〇〇三年）

鷹ノ台東駅から、東に歩いて十分。部屋は二畳の板間と六畳の和室。南向き。トイレと風呂は共同だが賄い付き。家賃は二万五千元。しかも、光熱費、水道代、賄い費こみ。とても良い条件のアパート「寿荘」しかし、このアパート、よくオバケが出るため、近所では、「妖怪アパート」といわれている。

中学一年生の時に両親がいつぱんに死に、親戚の家に住んでいた稲葉タ士。高校は寮のある高校に合格し、親戚にこれ以上負担をかけないようにしようとしていた。

←中央図書館・わかぎり図書館

わかたけ図書館に所蔵あり。



しかし、合格発表の二日後のこと、寮が全焼してしまった。落ちこむタ士はアパートを探すことに。そこで「妖怪アパート」に出会い、タ士の世界がどんどん広がっていく。アパートに住む人（妖怪）達との日常の物語となっております。TVアニメにもなっているので読みやすいと思います。

Yuta

神様ゲーム

麻耶雄嵩／著
講談社（二〇一五年）



「僕は神様なんだよ」
半年前に転校してきた鈴木君とまたま同じトイレ掃除の当番になった芳雄（よしお）は、自称神様の鈴木君から最近連続して起こる野良猫殺害事件の犯人の名前を聞かされる。同級生と結成した探偵団の団員である芳雄は事件の真相を追おうとするが、新たに事件が発生し――？。

この話は事件の真実を解明する話ではなく、さきに真実を知った上でその過程を探っていくという、普通のミステリーとは少し違うところが面白いなと思いました。主人公は十回目の誕生日を迎えたばかりの小学生で、その他の主要人物もほとんどが子供なのですが、この話のキーマンである鈴木君によって事件に巻き込まれていくのが恐ろしかったです。

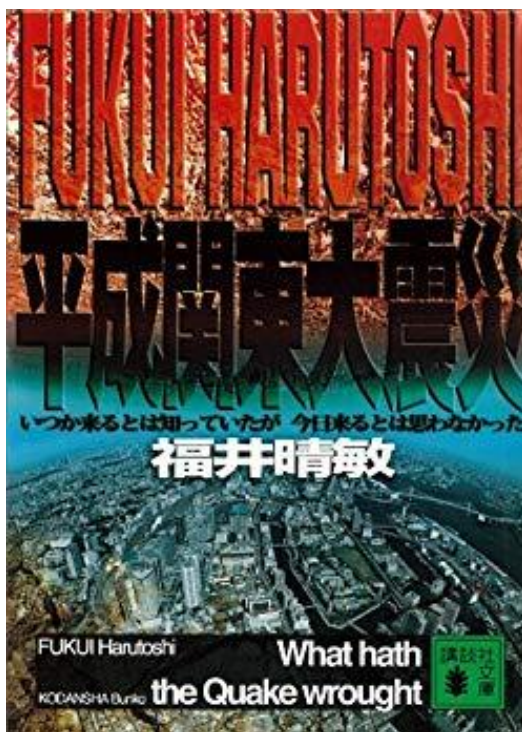


神様ゲーム



→中央図書館・武蔵野台図書館に所蔵あり。

←中央図書館・武蔵野台図書館に所蔵あり。



平成関東大震災
いつか来るとは知っていたが
今日来るとは思わなかった

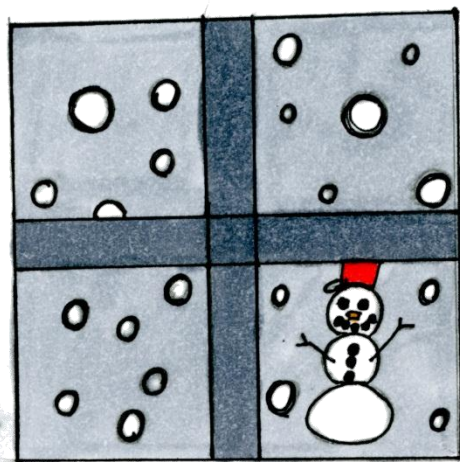
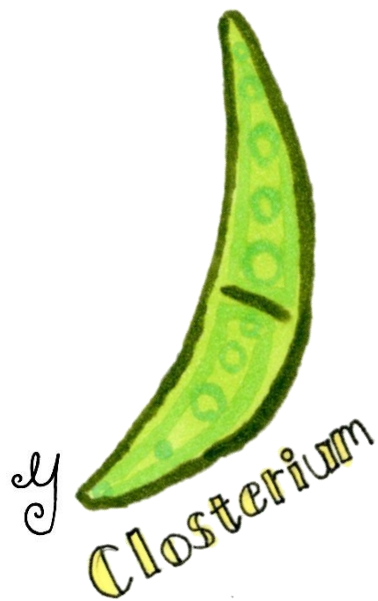
福井晴敏／著
講談社（二〇一〇年）

「亡国のイーゾス」の福井晴敏による「現代の東京で大地震が起きたらどうなるか？」というシミュレーション小説。

主人公は都庁からの長い長い家路や、家にたどり着いた後でたくさんのトラブルに遭遇する。それらは全て、いつ私たちに起こってもおかしくはないものばかりだ。

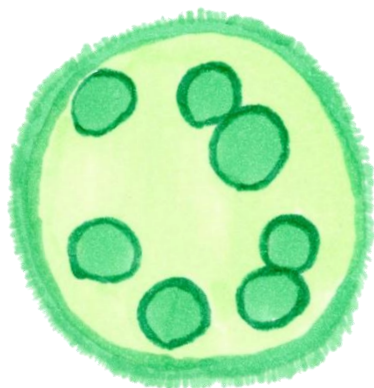
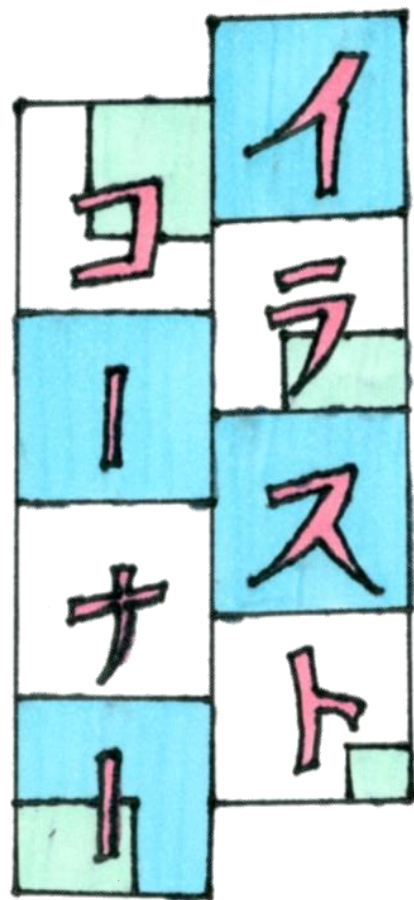
地震によって起こる様々な災害をどのように乗り越えていくのか、本編やコラムコーナーで解説もあり、いざというときに役立つ内容になっている。一度は必ず読んでほしい。

NAO!!



降り
止まない雪

K.U



Volvox

y



y



y



K.U

本を読むのが好き！
絵を描くのが好き！
友だちをつくりたい！

一緒に「いろは新聞」をつくりませんか？

興味のあるひとは

中央図書館へ電話または直接

☎042-553-3111

いろは新聞
メンバー募集！！



7A